「マーケットの浅読み・深読み」
発行・編集：FXニュースレター　　執筆担当：斎藤登美夫
▼▲▼
◇◆◇　No.0770　◇◆◇　　23/12/27

【　2023 年の為替・金融業界 10 大ニュース　】

今年も本日を含め残り数日、今年最後の当レターです。そこで今回は、年末恒例である筆者の独断と偏見で選出した今年一年の「為替・金融業界 10 大ニュース」を報じてみたい。読者の皆さんの考えるニュースは果たしてランクインしているだろうか。

◎「地政学リスク拡大」など来年への継続案件も少なくない

まずは筆者の考える「為替・金融業界 10 大ニュース」を以下ですべて列挙、そのあとで簡単な解説や講評などを記してみたい。
1；NYダウが史上最高値を更新、日経平均株価も 33000 円台示現でバブル崩壊後の高値更新
2；為替市場で円は全面安、ドル/円は年間変動幅 24.70 円で 2 年連続の大相場
3；ハマスがイスラエルに大規模攻撃するなど、台湾・北朝鮮など含めた世界的な地政学リスク急拡大
4；不動産危機などを背景に中国情勢への警戒感が急台頭、デフレも徐々に顕在化
5；FRBが断続的な利上げ継続、政策金利は 22 年ぶり高値の 5.50%に
6；野球界に明るい話題、WBCで日本が 14 年ぶり優勝、大谷翔平選手が米大リーグで本塁打王獲得
7；悪材料の重なりもあり、岸田政権の世論調査における支持率が危機的状況に陥る
8；日本が記録的猛暑、夏の平均気温は過去最高
9；暗号資産ビットコインが一時 45000 ドル近くまで上昇、2022 年 4 月以降の戻り高値
10；日本がG7 議長国に、「広島サミット」など開催される
番外；「北朝鮮が『軍事偵察衛星』の発射に成功」、「中国の習国家主席が 3 選される」、「ロシアでいわゆる『ワグネルの乱』が起こる」、「米中が 1 年ぶりに首脳会談実施」、「日本で新型コロナが『5 類』に移行」、「ジャニーズ事務所・日大アメフト部・ビッグモーター・宝塚などの問題が世間を騒がす」、「大江健三郎さんや坂本龍一さん、谷村新司さんなどの訃報相次ぐ」、「将棋の藤井聡太さんが史上初の 8 冠獲得」、「福島第 1 原発の処理水放出開始」ーー（順不同）。

ーーさすがに昨年には及ばなかったがドル/円が 2 年連続の大相場をたどるなど、為替市場は全体を通してなかなかの動き。ユーロやポンドも対円中心に年間を通して荒っぽかった。しかし、今年の金融業界でそれ以上に印象深かったのは日米株価。日経平均株価が 33 年ぶりの高値をつけたうえ、NYダウはなんと史上最高値を更新している。関係者にとってはウハウハの一年だったに違いない。
なお、先週レポートしたように来年は「辰年」で、相場格言では「辰巳天井」と言われるような株高が期待されている感もある。来年の日米株価は、今年からさらに続伸も!?

1 位と 2 位、そして 9 位にマーケットネタがランクインした以外、3 位とした「地政学リスク」そして 4 位と位置付けた「中国情勢」が、個人的にはとくに印象深かった。こちらも以前に報じているが、ともに来年へと継続される案件であるとともに、市場の波乱要因となりかねない事象だろう。関連ニュースなどには、引き続き十分な注意を払いたいところだ。
また、5 位とした「米政策金利の上昇」は、ご承知のとおりいよいよ終焉を迎えただけでなく、今後来年にかけては一転して「利下げ」に転じる公算が大きい。ちなみに、市場の織り込み度合いなどを考えると、「少なくとも来年だけで 3 度の利下げ」が見込まれているが果たして如何に。また、日銀は今年「金融政策の変更」に動かず、一部からは期待外れとの声も聞かれていたが、来年こそはゼロ金利解除に動くと予想されている。いずれにしても、大きな市場変動要因のひとつとなるに違いない。

最後に、前述した「地政学リスクの拡大」など、ほかのビッグニュースの陰に隠れてしまうところも多々あったが、振り返ってみると今年は日本絡みの要因もかなり多かった気がしている。たとえば、「夏の歴史的猛暑」も今年の日本を象徴する代表的なひとつの出来事で忘れがたい。
ただ、同じような話を毎年している気もするが、トータルでいうとなかなか明るい事柄が少なかった感を否めず、振り返ってみるとほぼスポーツ関係の話題ぐらいか。とくに野球頼みだった気がするのは、果たして筆者だけの感覚か。そうした視点に立つならば、来年はフランス・パリで 7 月 26 日からオリンピック、そして終了後にパラリンピックが開催される。政治情勢等を考えると気が滅入り、あまり明るい展望を考えにく

い環境下、是非ともスポーツの分野ぐらいは明るい話題を提供していただければ、といまから大いに期待しておきたい。（了）

ーー末筆になりましたが、当稿が今年最後のレターとなります。今年も御愛読ありがとうございました。来年が皆さまにとって良い一年でありますように。なお、来年の原稿は 1 月 10 日付から。3 日付けはお休みとさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。

▼▲

当レターは、情報提供のみを目的としたものです。内容に関して正確であるよう注意を払っておりますが、その正確性を保証することはできません。投資や運用にあたっての最終的な判断は、あくまで読者自身の責任と判断によって、ご利用いただくようお願い申し上げます。また、本稿の無断転載・転送もご遠慮ください。
なお、本稿に関する問い合わせは『FXニュースレター』までお願い致します。

◆◇◆ Copyright (C) fx-newsletter limited company All Rights Reserved ◆◇◆

FX-newsletter